

独立行政法人日本学術振興会契約監視委員会（第5回） 議事概要

1. 日時 平成23年3月9日（水）17:30～19:30
2. 場所 独立行政法人日本学術振興会 FSビル8階第一会議室
3. 出席者：會田委員長、京藤委員、小島委員、清水委員、溝口委員
4. 事務局：湊屋総務部長、小根澤監査室長、八木澤経理課長 他
5. 議題
 - (1) 第4回契約監視委員会議事録（案）について
 - (2) 平成22年度契約点検について
(平成21年度契約実績と平成22年度12月までの契約に関する比較)
 - (3) その他
6. 主な議事概要
 - (1) 第4回契約監視委員会議事録（案）
事務局より資料1について説明を行い、委員の了承を得た。
 - (2) 平成22年度契約点検について
事務局より資料2、3-1、3-2に基づき説明を行い、平成22年度末までの随意契約の在り方等について意見をいただいた。委員からの主な意見は次のとおり。
 - ①国際会議の会場借り上げについて、それなりの質を確保する必要性がある一方、仕様を詳細にすれば該当する会場が減り競争性の確保が困難になる恐れがあるため、仕様の設定には十分な検討が求められる。
 - ②やむを得ない随意契約として、著作権保護を理由にシステム関係の案件が多い。現状のままカスタマイズ契約を継続するべきか否かについては、本委員会のみで検討することは困難であり、外部の専門家を交えた調査及び検討が必要であろう。
 - ③競争入札において競争性と質の両面を満たした契約を締結するには、各原課担当者が作成する仕様書の内容が非常に重要であるため、まずは振興会内で契約勉強会を実施した。次回は専門家を招へいする等、さらなる充実を図ってはどうか。
 - ④真にやむを得ないもの以外の随意契約については、引き続き一般競争入札へ移行していくべきである。
など。
 - (3) その他
事務局より参考資料1、2に基づき、文部科学省から所管独立行政法人契約監視委員会への取組に対する要請の説明を行った。

以上